

担当課	健康づくり課	担当者	和田美鈴	委員氏名	
-----	--------	-----	------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	1、魅力的な暮らしを創造する			戦略	子供を産み育てるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	妊婦健康診査助成事業			事業内容	出産までに14回程度必要とされる妊婦健診費用の一部を助成します。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	妊娠11週までの妊娠届出率				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	衛生費	保健衛生費	母子保健費	01010306	妊婦健康診査助成事業	32,947

2. 事業評価

								策定時実績(H26)	91%
投入コスト(千円)								KPI	
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	31,128					31,128	31,128	92%	91.7%
28	28,752					28,752	28,752	92%	93.7%
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	妊娠11週までの妊娠届出率は93.7%。9割以上の妊婦が、妊娠初期から市が発行した妊婦健康診査受診票(助成券)を利用して健診を受けています。平均在胎週数は38.6週で、妊婦健診回数は平均12~13回となっています。							
	問題・課題 (Check)	国が示している基準の妊婦健診項目に対する費用助成しており、子育ての経済支援が健康管理につながっています。特に問題、課題はありません。							
	具体的改善内容 (Action)	健診結果を次の妊娠に向けた健康管理、将来を見据えての生活習慣病対策にも役立てます。							
評価	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価	今後の方針	今後の方針の理由	評価	今後の方針	今後の方針の理由		
	事業効果	A	継続	子育ての経済的支援が健康管理につながっているため。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回るとはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回るとはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	健康づくり課	担当者	有賀 妥子	委員氏名	
-----	--------	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	3、元氣な暮らしを応援する			戦略	生きがいをもって暮らすなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	みずなみ健康21推進事業			事業内容	健康づくり計画 みずなみ健康21(第2次)の基づく事業として食の大切さを広める食生活改善推進委員活動、心の健康のための自殺予防研修会、禁煙支援事業、早期生活習慣病予防のための30歳代健診等を実施しています。広い世代に生活習慣病予防の取り組みの大切さを啓発し、健康長寿を目指します。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	血圧値140/90mmHg以上の人の割合				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	衛生費	保健衛生費	健康増進費	04010408	みずなみ健康21推進事業	997

2. 事業評価

							策定時実績(H26)	34%	
投入コスト(千円)							KPI		
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	3,696		47		370	3,279	3,696	25%	30%
28	890		38		40	812	890	25%	30%
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	平成28年度においては食生活改善推進委員の地域伝達活動に 20回 447名が受講、心の健康のための自殺予防研修会には 40名参加、早期生活習慣病予防のための30歳代健診 306名が受診しています。							
	問題・課題 (Check)	健康づくりの大切さを広く市民に啓発し、その結果、市民一人ひとりの生活習慣の改善に繋がっていることが重要です。							
	具体的改善内容 (Action)	健康づくりのための取り組みと自身の健康状態(健診結果)が繋がるよう、各事業において健診結果を活用した啓発方法を取り入れていきます。							
評価	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価	今後の方針	今後の方針の理由	評価	今後の方針	今後の方針の理由		
	事業効果	C	継続	今後もあらゆる機会を捉えて生活習慣病予防等について啓発していく必要があるため。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	保険年金課	担当者	水野正直	委員氏名	
-----	-------	-----	------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	1. 魅力的な暮らしを創造する			戦略	子どもを産み育てるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	福祉医療費助成事業			事業内容	出生から義務教育終了年度(中学生)までの子どもの医療費を助成し、無料化します。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	助成対象者:現状維持				
		目標指標値	100%				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	民生費	社会福祉費	福祉医療費	03010502 03010503	福祉医療助成経費	147,000

2. 事業評価

								策定時実績(H26)	100%
投入コスト(千円)								KPI	
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	145,159	45,716	28,079			71,364	145,159	100%	100%
28	144,980	46,009	28,703			70,268	144,980	100%	100%
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	平成27年度末対象者数: 4,708人 平成27年度受診延件数: 77,466件 平成28年度末対象者数: 4,535人 平成28年度受診延件数: 77,782件							
	問題・課題 (Check)	大きな問題はありません。							
	具体的改善内容 (Action)	子育て家庭の経済的支援策として継続して実施していきます。							
評価	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価	今後の方針	今後の方針の理由	評価	今後の方針	今後の方針の理由		
	事業効果	C	継続	子育て家庭の経済的支援策として継続して実施していきます。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	教育総務課	担当者	鈴木友恵	委員氏名	
-----	-------	-----	------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	1、魅力的な暮らしを創造する			戦略	子どもを産み育てるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	奨学金給付事業			事業内容	教育の機会均等を確保し、優秀な人材を育成するために、大学生・高校生を対象に奨学金を支給します。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
		目標指標値	40件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	教育費	教育総務費	教育振興費	10010316	奨学金給付事業	15,962

2. 事業評価

							策定時実績(H26)	32件	
投入コスト(千円)							KPI		
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	16,105				16,080	25	16,105	40件	46件
28	15,345				15,320	25	15,345	40件	47件
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	大学生32名(給付型3万円/月、入学一時金20万円)、高校生20人(給付型1万円/月)に奨学金を支給しました。制度の周知(広報、チラシの配布等)に努めたところ、目標を上回る応募(大学生35人前年比+7人、高校生12人)がありました。							
	問題・課題 (Check)	申請者、給付対象者に偏りが生じやすいこと。ひとり親家庭や経済的な問題を抱える家庭からの複数名の申請、受給などが目立ちますが、いずれも要件を満たしています。							
	具体的改善内容 (Action)	機会の均等を確保するため、引き続き制度の周知に努めます。申請様式の改善や選考基準の点検を行います。							
評価	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価	今後の方針	今後の方針の理由		評価	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	B	継続	前年度に比べ申請者数・問合せ件数が増加しておりニーズが高いこと、教育の機会均等と優秀な人材の育成に寄与しているため。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	農林課	担当者	和田慶一郎	委員氏名	
-----	-----	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	1、魅力的な暮らしを創造する			戦略	やりがいをもって働いたら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	有害鳥獣被害防止対策事業			事業内容	ICTを活用した機器を導入し、有害鳥獣による農作物への被害防止を図ります。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標	指標	有害鳥獣被害額を50%低減				
	KPI	目標指標値	H25:110万の50%				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	-	有害鳥獣被害防止対策事業	0

2. 事業評価

							策定時実績(H26)	29.5%増	
投入コスト(千円)							KPI		
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	4,809	4,160				646	4,809	50%減	17.5%増
28	0						0	50%減	94.5%減
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	有害鳥獣を捕獲するワナが作動すると、自動的にメールを送信して実施隊員に知らせることで、見回りの手間を大幅に軽減することができた。平成28年度は、イノシシ700頭、ニホンジカ16頭を捕獲し、水稻被害額は60千円であった。							
	問題・課題 (Check)	実施隊員に高評価を受けており、捕獲実施にあたっての問題点は見られなかった。							
	具体的改善内容 (Action)	機器を有効に使用して、引き続き捕獲をしていただけるよう実施隊員に働きかけていく。							
評価	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価	今後の方針	今後の方針の理由	評価	今後の方針	今後の方針の理由		
	事業効果	A	継続	引き続き機器の運用を続け、有害鳥獣捕獲を進め農作物などへの被害防止に努める。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	環境課	担当者	加藤龍嗣	委員氏名	
-----	-----	-----	------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	2、快適な暮らしを実感する			戦略	満ち足りた暮らしをするなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	瑞浪市生物多様性保全事業			事業内容	環境保全のため、地域住民との協働により、黒の田湿地の保全活動及び生物調査を行います。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	湿地保全地区数				
		目標指標値	1地区				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	一般会計	衛生費	環境費	環境総務費	4030115	生物多様性保存事業	292

2. 事業評価

								策定時実績(H26)	-
投入コスト(千円)								KPI	
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	3,240		3,240				3,240	1地区	1地区
28	52					52	52	1地区	1地区
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	既存の文献資料等で事前調査を行い、現地では湧水源や湿地構造、動植物を調査した。動植物においては、レッドデータブックに指定されているものが多数発見された。調査結果をもとに、今後のあり方について検討した。							
	問題・課題 (Check)	調査結果の公表について、貴重な湿地であることや希少動植物がいる事を多くの人に知ってもらうことで保全保護に協力が得られると同時に、ルールを守らない観光客による環境破壊や乱獲が危惧される。							
	具体的改善内容 (Action)	調査の公表は、地元保存会に相談したうえで、ホームページ上の掲載や冊子の作成は行わない。地元保存会や要望のあった教育関連施設等への提供に限定するなど、慎重に取り扱う。							
評価	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価	今後の方針	今後の方針の理由		評価	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	C	終了	黒の田湿地の環境調査が完了し、保全活動の方向性を示せたため。					
事業評価	◎								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C: 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D: 本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎: 事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○: 事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した

担当課	地域包括支援センター	担当者	寺社下 佳延	委員氏名	
-----	------------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	3、元気な暮らしを応援する			戦略	生きがいをもって暮らすなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	高齢者移送サービス事業			事業内容	高齢者の日常生活を支援するため、必要とする高齢者が気軽に利用できる移動サービスとして、リフト付福祉タクシー利用者に対する助成を行います。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間利用回数				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算額(千円)
	介護保険事業特別会計	地域支援事業費	包括的支援事業・任意事業	任意事業	12000054	老人移送サービス事業	70

2. 事業評価

								策定時実績(H26)	22回
投入コスト(千円)								KPI	
年度	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	総合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	18					18	18	100回	16回
28	24					24	24	100回	17回
29									
30									
31									
効果検証	実施状況 (Do)	移動困難な高齢者等のリフト付福祉タクシーの利用へ助成することにより、移動困難な高齢者等の社会的孤立感の軽減、心身機能の維持向上及び介護者の身体的精神的な負担の軽減等に資するとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図っている。							
	問題・課題 (Check)	介護保険の制度外サービスとして事業を行っているが、利用者が少ない。							
	具体的改善内容 (Action)	利用者の利用拡大のため、平成29年度に対象者の条件、利用条件の緩和等を行った。ケアマネにも制度改正の周知を行った。							
評価	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価	今後の方針	今後の方針の理由	評価	今後の方針	今後の方針の理由		
	事業効果	C	見直し(改善)	平成29年4月1日リフト付きタクシー利用者の利用拡大のために、要綱を改正した。					
事業評価	O								
総合戦略推進会議(意見)									

事業効果	A:本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど) B:本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) C:本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) D:本事業は地方創生に効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
事業評価	◎:事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ○:事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した